



令和 6 年度 教育委員会事務点検・評価報告書

はじめに	1
1 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会定例会	2
(2) 総合教育会議	5
(3) その他	5
2 教育委員会における事務の管理・執行状況	
(1) 学校教育	6
(2) 生涯学習	9
(3) 芸術文化の振興と文化財保護	10
(4) 生涯スポーツ	10
3 外部委員評価	11

2025 年 5 月

井川町教育委員会

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、第 26 条の規定に基づき、本町教育行政の充実発展を目指すとともに町民への説明責任を果たすため、達成度を評価したものです。

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委託された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

□ 評価スケジュール

- 2 月 教育委員及び事務担当の自己評価
- 3 月 評価結果のまとめ及び教育委員会定例会で評価を議決
- 4 月 外部評価委員へ評価の依頼
- 6 月 評価結果を 6 月議会に提出
- 7 月 評価結果の公表（井川町ホームページ）

□ 対象事業

- ・教育委員会が直接関与している事業或いは活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- ・教育委員会が管理・執行している事務事業や教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

□ 点検評価基準

A	達成している ねらいに沿った具体的成果が表れている
B	おおむね達成している 具体的な成果が表れているが改善の余地がある
C	達成していない 事業の見直しを含めた検討が必要である

□ 外部評価委員について

点検・評価内容の客観性を確保するため、教育に関して学識を有する外部委員に意見と総評をいただきます。外部委員には、令和 5 年教育委員会 4 月定例会で幡宮明貞氏（八幡）を議決し、評価をいただきました。

1 教育委員会の活動状況
 (1) 教育委員会定例会

月	開催日	審議内容
4月定例会	4月24日(水)	【議決事項】 (第9号) 井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について (第10号) 令和6年度就学援助児童生徒の認定について(追加) 【報告事項】 ・井川町教育委員会事務点検・評価報告書に係る外部評価について ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定(5月分) 【学力向上協議会】 ・県学習状況調査分析結果、今年度の学習・研究重点説明、授業評価
5月定例会	5月27日(月)	【協議事項】 ・学校タブレットの紛失事案について 【報告事項】 ・東北町村教育長研究大会、全国教育長研究大会について ・台湾修学旅行について ・第1回学校応援協議会について ・井川さくら塾に係る説明会について ・第5回いかわ夕学の会について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(6月分)
6月定例会	6月24日(月)	【報告事項】 ・令和6年度第2回井川町議会定例会(6月定例)について ・男鹿潟上南秋中学校総合体育大会の結果について ・第2回学力向上協議会について ・井川さくら塾夏期講習について ・台湾修学旅行アンケート結果について ・学校タブレット紛失事案対応について ・井川町歴史民俗資料館の運営について ・夏休み体験会について ・教育委員会、学校、公民館関係行事予定(7月分)
7月定例会	7月29日(月)	【議決事項】 (第11号) 令和7年度中学校教科用図書採択について 【報告事項】 ・中学校全県総体等の結果について ・部活動地域移行協議会について ・夏休み体験事業「にほんかいたいけん会」について ・全県市町村教育長会議資料について ・教育委員会、公民館、学校関係行事(8、9月分)

月	開催日	審議内容
8 月定例会	8 月 27 日（火）	【報告事項】 ・全国学力状況調査（概要）について ・男鹿潟上南秋地区中学校教科用図書採択結果について ・東北六県市町村教育委員会連合会「論集」原稿について ・井川さくら塾受講者の感想について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（9、10 月分） 【学力向上協議会】 ・全国学力状況調査分析結果、授業改善進捗状況、授業講評
9 月定例会	9 月 30 日（月）	【議決事項】 （第 12 号）井川町教育委員会職員の異動に係る内申について 【協議事項】 ・教育委員会会議運営の工夫について 【報告事項】 ・教育委員会委員の任命について ・令和 6 年度第 3 回井川町議会定例会（9 月議会）について ・全県市町村教育委員会教育長会議について ・学校校則見直しの推進について ・中学校地区秋季大会等の結果について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（10、11 月分）
10 月定例会	10 月 28 日（月）	【報告事項】 ・国の教育政策の動向について ・第 4 回学力向上協議会の協議結果について ・第 6 回いかわ夕学の会について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（11、12 月分） 【意見交換】 ・校則見直しの取り組みへの支援について
11 月定例会	11 月 25 日（月）	【報告事項】 ・会計年度任用職員の異動について ・休日の部活動地域移行に係る対応について ・第 6 回いかわ夕学の会について ・冬休みスケート体験会について ・井川さくら塾冬期講座について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（12、1 月分） 【協議事項】 ・令和 7 年度井川町教育委員会人事構想（案）について ・学校改革の一環としての校則のあり方の見直しについて ・井川町総合教育会議について

月	開催日	審議内容
12 月定例会	12 月 16 日（月）	【報告事項】 ・ 12 月定例議会について ・ 教職員多忙化防止の進捗状況について ・ 学校生徒の進路状況について ・ 学校部活動の入部状況について ・ 学校保護者アンケート結果について ・ 市町村教育委員会研修会報告について ・ 国語副読本（三山）の活用状況について ・ 教育委員会、公民館、学校関係行事予定（1、2 月分） 【協議事項】 ・ 令和 7 年度学校教育の重点について
1 月定例会	1 月 27 日（月）	【協議事項】 ・ 教育委員会の権限に属する事務の一部を町長の補助機関である職員に補助執行させることについて 【報告事項】 ・ 人事異動交渉進捗状況について ・ 秋田県学習状況調査結果について ・ 令和 6 年度体力テスト結果について ・ 井川さくら塾（冬期）受講者の感想について ・ 台湾との交流事業について ・ 文化財保護審議会報告について ・ 9 年生の進路状況について ・ 教育委員会、公民館、学校関係行事予定（2、3 月分） 【学力向上協議会】 ・ 県学習状況分析結果、授業講評
2 月定例会	2 月 25 日（火）	【議決事項】 （第 1 号）令和 7 年度教職員の異動に係る内申について （第 2 号）井川義務教育学校卒業式告辞について （第 3 号）地方自治法第 180 条の 7 の規定に基づく協議書の締結について （第 4 号）招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について 【報告事項】 ・ 令和 7 年度就学援助費の額改定について ・ 義務教育学校における社会性の伸長について ・ 令和 6 年度教育委員会事務点検・評価報告書について ・ 教育委員会、公民館、学校関係行事予定（2、3 月分）

月	開催日	審議内容
3月定例会	3月24日（月）	【議決事項】 （議案第5号）令和7年度井川町教育委員会職員の異動に係る内申について （議案第6号）令和7年度井川町教育方針について （議案第7号）井川義務教育学校入学式告辞について （議案第8号）井川町学校応援協議会委員の委嘱について （議案第9号）学校、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について （議案第10号）井川町社会教育委員兼井川町公民館運営審議会委員の委嘱について （議案第11号）井川町文化財保護審議会委員の委嘱について （議案第12号）井川万千スポーツ推進委員の委嘱について （議案第13号）井川町地域学校協働活動推進員の委嘱について （議案第14号）令和7年度就学援助児童生徒の認定について （議案第15号）井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について （議案第16号）令和6年度井川町教育委員会事務点検・評価について 【報告事項】 ・令和7年度第1回井川町議会定例会について ・井川義務教育学校の進路先最終報告について ・教職員多忙化防止の調査結果について ・学校応援協議会における学校評価について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定

（2）井川町総合教育会議

開催日	案件
12月16日（月）	・意見交換 ※ 学校改革の一環として校則のあり方について意見交換した。 ・その他

（3）その他

- ・井川町教職員研修会（第1回4月2日、初任者研修8月9日）
- ・井川さくら塾開講式（7月29日）
- ・学校授業視察（4月24日、8月27日、1月27日）
- ・学校給食試食（4月24日、8月27日）
- ・こどもセンター視察（9月30日）
- ・公民館諸行事（町民体育大会6/30、二十歳の集い8/15）
- ・学校諸行事（入学式4/5、運動会5/25、学校祭9/7、学習発表会11/16、卒業式3/7）

2 教育委員会における事務の管理・執行状況

(1) 学校教育

理念	重点	到達目標と結果（○×）	具体的取り組み《》と成果	評価
あ た た か な 心 夢 と き め く ひ と づ く り	学 力 の 向 上	×対話や討論のある授業が展開されている。 ※対話はよく行われているが、討論については中期や後期でそのレベルまで達していないことが多い。 ×授業がよくわかる。（全校平均3.3以上） ※全校平均が3.2と、昨年より-0.1ポイントとなって目標を達成できなかった。 ○学力調査が前年の県平均を上回る。 ※12月調査で、昨年の-4.1ポイントから-3.4ポイントとなり0.7ポイント上回った。	《「武埴三山」「洲崎遺跡」副読本の活用》 「武埴三山」副読本は、6～9年生で副読本を活用した授業を行っており、今年度は教育長も実際に授業を行った。 「洲崎遺跡」副読本授業では、7年生が板碑等を巡るフィールドワークを行い、洲崎遺跡への理解を深めた。 《学校外での公設塾の実施》 5～9年生を対象に公設塾「井川さくら塾」を実施した。夏・冬休みを利用した夏期・冬期講習で、各4日間、算数・数学に絞り、7～9年生は基礎・応用にクラス分け開催した。参加者は夏期57名、冬期38名。冬期における参加者の減少は、自転車を使用出来ないことが要因と考えられ、今後対策が必要と感じた。冬期参加者の感想では、「参加して良かった」が約9割、「来年度も参加希望」は約8割と、参加者からは概ね好評であった。 《4年生以上への新聞配布とNIEへの取り組み》 学習委員会において新聞記事を活用した学習に取り組むため、子ども達が日頃から新聞を意識するように位置を工夫したり、新聞を読む時間を確保したりと環境作りに努めた。 《図書カードの贈呈や学校図書館図書費の充実》 例年同様、夏休み中の読書活動充実のため、町内の全児童生徒に図書カードを配布した。また、夏休み明けには配布した図書カードの使用状況を把握するためにアンケート調査を行った。 《学力テスト等の分析による授業改善への援助》 県学習状況調査・全国学力状況調査について、学級全体・1人1人の学習状況について全教科にわたり統計学的分析をして学校に提供している。 《教育委員会による学校訪問と指導助言》 教育委員による学校訪問・授業視察は3回行われ、教育委員会・学校連絡会議等において助言を行った。	B

理念	重点	到達目標と結果（○×）	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	社会性 の 伸 長	× 社会的事象や出来事への関心が高くなる。 ※県学習状況調査で、「社会をよくするために何かしてみたいとおもうか」という質問にしてみたいと答えた児童生徒は46.4%で、昨年を9P下回った。 ×他学年と協力したり仲良くするなどの関係が強くなる。（全校平均3.6以上。今年度は3.5で目標を下回った）	《にほんかいたいいけん会・スケート体験会の実施》 1年生から3年生までの児童43名が参加の「にほんかいたいいけん会」では、ジオパークガイドによる鵜ノ崎海岸のお話・化石探しと男鹿水族館GAO見学を体験した。4年生から6年生までの35名が参加した「スケート体験会」では、スケート指導員によるスケート教室、その後の自由滑走において冬場の運動を満喫した。今年度より両体験会にボランティアとして学生サポーターを募集し、各4名が参加、見守りの協力をいただいた。 《海外修学旅行の実施》 5月に3泊4日の日程で初めての台湾修学旅行（9年生）を実施した。参加は、9年生27名、教職員4名、町職員3名。生徒達は現地学生との交流や施設見学・ランタン上げなどの異文化にふれ、国際理解を深めた。修学旅行後のアンケートからは、概ね好評価を得ることが出来た。 《井川みらい学への外部講師招聘》 八朗湖の環境学習や盆踊り教室等に外部講師や地域の方々を講師として招聘し、授業を行った。 《社会性測定尺度による社会性調査の実施》 1月に調査を実施し、結果は学校に返却している。調査は2019年から行っており、経年変化からの検証も行い学校に報告した。 《いかわ夕学の会》 7月に元仙北市長の門脇光浩氏による講演、12月にはゴスペルシンガーの塚本崇瀬氏によるクリスマスコンサートを開催した。	B
	温 か な 心 ・ 健 康 な 体	×生命尊重や思いやりに関する意識が高まる。（3.3以上） ※ 社会性調査で「みんなが仲良くなれるように働きかけることができる」では3.2で目標を下回った。 ×体力調査の県平均との差が前年の県平均との差を上回る。 （今年度-0.95で昨年度の-0.27を下回った）	《いきものふるさと水槽事業への支援》 はちろうプロジェクトや大学機関と連携して、水槽に水草を植えたり水質調査を行うことにより、川の生物や水質に関心をもつきっかけづくりをした。 《町健康教育副読本の活用への支援》 全児童生徒と保護者に向けた尿検査とアンケート調査を行った。今年で6年目の実施となった。昨年度と塩の量を比較したり、保護者と一緒に家庭での食生活を振り返りをしてもらえるように結果表を返却している。今年度は栄養調査も実施した。 健康副読本を使って学習を始める4年生に向けて、大阪大学の先生と学生が授業を行った。クイズを授業に取り入れながら、町の健康への取組と塩分について学んだ。 《教育支援委員会によるこども・保護者への支援》 特別な支援を必要とする児童生徒や保護者について地域・学校・教育委員会等が一緒になって情報共有やどんなサポートが必要なのか協議し、1人1人の教育的ニーズに応じた支援を行った。 《不登校等のケース会議の開催》 不登校等のケース会議は2回開催し、ケース報告に対しスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、民生児童委員等から助言をいただき不登校の対応を進めている。 《職員対象のストレスチェックの実施》 全教職員を対象に年2回実施した。自分自身のストレスの状態の把握や自身のセルフケアに役立てるため実施した。	B

理念	重点	到達目標と結果（○×）	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	地域とともにある充実した学校	○学校応援協議会の提言に対応している。 ※ 要望等は少なかったが、来年度以降の取り組みも含めて提言の具体策について検討していた。 ○学校給食の町内産野菜使用率が向上する。 ※ ほぼ40%で推移している。	《学校応援協議会の運営と充実》 授業参観や学校給食の試食を取り入れたりしながら年3回開催している。毎回委員と意見交換を行い、提言に対しての対応を都度検討している。 《幼小接続連絡会議におけるカリキュラムの検討と研修》 児童の交流だけでなく、こどもセンターと学校の教職員同士がお互いを訪問することにより、連携の強化を図った。また、架け橋期カリキュラム作成に向けた協議も進めている。 《通学路の安全確保とスクールバスの安全な運行》 井川町通学路安全推進会議を開催し、通学路の危険箇所や改善箇所の確認を行った。また、通学路安全対策箇所一覧表も更新し、学校HPへ掲載した。 《給食無償化と並行した食育推進への支援》 令和5年度より子育て世帯への支援拡充のため、義務教育学校における給食の無償化を行っている。 産直生産グループの代表者との打ち合わせを毎月行っている。また、これまでと同様に井川産の野菜や果物を献立に多く取り入れて給食を提供し、おたよりや掲示板、放送等で食材について紹介している。 《学校における協働活動》 8年生の家庭科の授業（ミシン）、3・6年生の総合の授業（盆踊り）、1年生の生活科の授業（昔遊び）へそれぞれ地域の人たちが講師として参加した。	A
課題と今後の方向			学習面では教師と子どもの関係が良好で安定した授業が多く、子どもたちが諸活動に陰ひなたなく取り組むなど、地域や学校の特色を生かした長所が見られた。半面、授業の進め方が予定調和的で活発な話し合いのある授業や、二分化された層へのていねいな働きかけがある授業が少なかったことなどの課題が見られた。また、生徒指導面では不登校の増加や小1プロブレムなどへの迅速な対応などの課題が見られたほか、児童生徒会活動などでの主体的な活動が不十分であった。 教育委員会では、今後も授業改善を促すための協議会や視察での助言を行うほか、ICTが効果的に活用できるようデジタル教科書や電子黒板などの整備に努める。また児童生徒の側面からの学力保障への支援と保護者負担の軽減を図るため、井川さくら塾の開催拡大を図りたい。 さらに、減少する児童生徒の視野を広げる多様な体験活動を推進し、今年度から開始した台湾修学旅行の一層の充実を図るため、学校交流や異文化学習ができる体制づくりに努めたい。また教育委員と児童生徒が直接対話する機会を設定するなど様々な工夫を通して児童生徒の自主性を高められるよう取り組んでいきたいと考えている。	

(2) 生涯学習

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	豊かで楽しい学習機会の保障	○参加者の減少に歯止めがかかる。 ※ 公民館事業全体を通じて、参加者が微増した。 ○各種事業の満足度が向上する。 ※一部ではあるが満足度調査において良好な結果を残した。	《いかわ夕学の会、「学びウォーク」の実施》 学校を会場に町民が子どもとともに学ぶ機会として、いかわ夕学の会を今年度は2回行った。八朗湖をテーマにした講演会とゴスペルシンガーを招いての体験会を行い、2回の参加者の平均は110人であった。昨年度の平均の114人を下回る結果となった。 学びウォークについては3事業を予定していたが、ふるさとフォトウォークのみの実施となった。町民自然ウォーキングは、参加希望者が少ないことにより中止。井川マラソンは事業の見直しにより、今回は見送ることとなった。 《満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善》 今年度より満足度調査を実施。いかわ夕学の会、学びウォークの1事業であるふるさとフォトウォークにて行った。どちらの事業も好評であり、来年度以降の指標として土台の構築ができた。他事業については事業の性質から満足度調査の実施までは難しい状況であったが、聞き取りによる意見収集に努めた。 《講座の名称や内容等の検討と改善》 前期課程の児童を対象とした長期休暇の体験事業を、今年度は冬休みも行うこととし、スケート体験会を行った。 全町盆踊り大会については、太鼓での町内巡回を復活し、新たにキッチンカーを呼ぶなどしてイベントが盛り上がるきっかけ作りに努めた。また進行を見直し、よりスムーズに進められるように資料作りに努め、運営改善を行った。	A
	地域の教育力向上への支援 教育力向上への支援	○公民館図書室の貸し出し冊数が増加する。 ※2月現在1冊増加した。 ○家庭教育支援の事業が充実する。 ※家庭教育事業数が増加した)	《読書活動や家庭教育支援での、学校やこどもセンター、健康福祉課との連携強化》 家庭教育支援事業では、就学時健診時に保護者を対象に家庭教育講座を実施した。今年度から開催のふるさとフォトウォークにファミリーの部を設け、親子での活動機会を増やした。 読書活動では、図書システムにより公民館図書室とみなくろの蔵書内容を共有し、連携を図った。また、昨年度に引き続き学校を会場に「いかわりサイクルBOOKフェア」を開催し、学校と連携して読書活動の推進に努めた。 《放課後子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援》 放課後子ども教室は、地域学校協働活動推進員が中心となり、算数や英語、スポーツ体験や工作など、子どもが楽しく学べるように工夫して開催した。打ち合わせを重ね、推進員の考えが活動に反映されるよう支援を行った。 《廃棄本頒布会開催のほか図書室の広報や展示の工夫》 義務教育学校の学習発表会時に学校の一角を借りて「いかわりサイクルBOOKフェア」を開催した。昨年同様、町民ボランティアを募集して、廃棄本から絵本、雑誌、一般書など約370冊を選定してもらった。当日の運営もボランティアの方々が行い、児童・生徒・保護者などに212冊を配布した。 公民館図書室の1月末現在の貸出冊数は1,625冊で、利用者数は447名であった。昨年度に比べて利用者は2名減少したが、貸出冊数は1冊増加した。 町広報やHPを活用した新刊図書貸出の周知や県立図書館の本の貸出サービスを行うとともに、話題の本が手に取りやすいようにポップをつけ、また季節や行事に関連したコーナーを設けるなど展示にも工夫して、貸出数の増加に努めた。	A
課題と今後の方向			コロナ禍をようやく脱し、町民体育大会や盆踊り大会などの事業の再開を図るとともにその改善につとめてきた。また地域ボランティアを募って廃棄本フェアやふるさとフォトウォークなどの新事業にも取り組むことができた。 今後はさらに各行事のニーズ把握に努めるとともに、ボランティアや民間団体に運営を引き継いで、町民主体の事業に転換していくことが必要である。	

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

理念	重点	到達目標と結果（○×）	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	郷土の歴史・文化の保護・継承・活用	○専門家の提言した民俗資料館の改善策に着手する。 ※専門家を招聘し来年度から改善策の実施をすることとした。	《板碑フォトラリーの実施》 今年度より新たにふるさとフォトウォークを9月に開催した。板碑などの町のレガシーを活用し、町の歴史文化に触れ・知るきっかけ作りを行った。満足度調査により事業内容は概ね好評であったが、開催時期に対する指摘が数件あった。 《学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発》 義務教育学校3年生「井川みらい学」で願人踊りと民謡手踊りを体験、保護者を招待して発表会を行った。学校での練習は保存会の方々の協力を得てより本格的な体験活動となっている。また同じく「井川みらい学」において盆踊りを体験、対象は3年生と6年生で、婦人会、八大保櫓の会の方々の協力を得て実施した。 《歴史民俗資料館指導助言の実施》 令和6年6月19日、令和7年1月22日に秋田考古学協会会長の高橋学先生を招いて、資料館の在り方や今後の対応について指導助言を受けた。当面は資料の保存に注力することとし、まずは資料の整理から始めることとなった。	A
	芸術文化の振興	○芸術文化団体・サークルへの活動支援を充実させる。 ※事業数が前年度に比較して増加した。	《芸術文化振興をふまえた公民館の展示等の活用》 「さくらまつり」では「歌と踊りのつどい」を開催、「公民館まつり」では、各団体のステージ発表を復活させ、日頃の活動の成果を発表できる機会を増やすことができた。また、町民作品展も開催し、各団体・教室・サークル活動の様々な作品出展の場を提供した。	A
	課題と今後の方向		資料館の改善については具体的な取り組み過程は明確になったものの実施については未定であり、人材の確保を最優先に進めていきたい。 サークル等への支援については、引き続き充実を図りたい。	

(4) 生涯スポーツ

理念	重点	到達目標と結果（○×）	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	生涯スポーツの振興	各種大会やイベントの満足度が向上する。 ○組織の見直しで大会が活性化する。（マラソン大会等で新たな形の運営をすることができた）	《いかわラン・各種スポーツ大会の実施》 今年度から井川マラソン改め、国花苑を会場とし、いかわランとして実施。産業課の収穫感謝祭と合同で行う。初めてのコースの為、動画を作成して視覚的に理解できるようにした。事前に井川町スポーツ協会・スポーツ推進委員に協力を仰ぎ、教育委員会のみ主導ではない形で実施することができた。 各種スポーツ大会は日程の見直し、参加の枠組みの調整を行い、人数の増加も見込むことができた。卓球大会については一人あたりの試合数を増やす事に着手し、開催。バスケット大会については日程の見直しにより、参加団体の増加。女子の区分が復活。BGMなどを試合前に流すなどをしてイベント感の演出を行う。バレー大会についても参加人数の増、協会側との連携をさらに密にし運営の効率化、スムーズな進行で実施することができた。 《満足度調査の実施》 各種スポーツ大会では満足度調査の実施をすることが出来た。結果として視覚的にニーズを把握することができた。いかわランについては初めての場所での開催のため、満足度調査を行うまでこぎつけることができなかった。	A
	課題と今後の方向		スポーツ大会については地域団体に運営を一部委譲するなど改善につとめ、参加者が微増するなど課題が解決されつつある。 今後も満足度調査などを行って事業の改善を図ったり、運営移譲を一層すすめるなど改善の取り組みを継続したい。	

「教育委員会における事務の管理・執行状況」の外部評価

(1) 学校教育

① 学力の向上

- ・教育委員会の取り組みとして、副読本や新聞の活用、公設塾の実施、学校図書の充実など、施策を次々実施し成果を上げており高く評価できる。
- ・教育委員会と学校現場の密接な連携がみえるので、今後も学習状況調査の分析を学校に提供するなど、「探究的な学習」が推進できるよう継続的な指導・助言を期待する。

② 社会性の伸長

- ・教育委員会が主導した修学旅行での異文化体験、日本海での体験活動などの実施は、新たな興味関心の向上、異なる価値観の理解、自らを振り返る契機、社会性や生きる力の育成など様々なメリットがあり、高く評価できる。また、「社会性調査の経年変化」の検証は有効である。
- ・井川の子供たちは集団での責任感や協調性・コミュニケーション能力・道徳性などよく身に付いており、部分的な社会性はよく育っている。地域の特性でもあろう。

③ 豊かな心、健康な体

- ・不登校への対応は喫緊の課題であり、支援を必要とする子どもと保護者へは丁寧な対応が必要であるが、教育委員会は適切な取り組みを行っている。今後も、関係機関との連携や外部講師等の助言をもとに、継続的に指導していただきたい。
- ・「豊かな心と健康な身体」は教育の大きな目的でもあり、学校や家庭・地域で共の育むことが求められている。次の④の項とも関連があるが、今後も、三者が連携する施策を強化し継続してほしい。

④ 地域とともにある学校

- 具体的な取り組みはいずれも適切で評価する。学校応援協議会は、回数・内容・具体化などよく機能している。学校給食の町内産野菜の使用率も高く今後も継続していただきたい。

(2)生涯学習

① 学習機会の保障

・「夕学の会」の継続、新規の「学びウォーク」や体験活動など取り組みが多岐にわたり、それぞれ成果が得られている。

・「聞き取りによる満足度調査」は、事業をさらに改善しようとする姿勢がみられる。

② 地域の教育力向上への支援

・読書活動や家庭教育支援で、学校や施設等と連携した各種事業の推進は高く評価できる。新規図書の紹介、展示方法の工夫など図書室経営はよく行われているし、「放課後子ども教室」での多様な取り組みも充実している。

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

① 郷土の歴史・文化の保護・継承・活用

・板碑フォトラリーや井川みらい学での体験学習によって、町民や子どもたちは郷土の歴史・文化に誇りを持つことができる。ぜひ継続していただきたい。

・民俗資料館の運営は専門家の提言を受けて改善に向かっており、具体化の推進に努めていただきたい。

② 芸術文化の振興

・芸術文化の各種団体グループへの支援は継続してほしい。併せて町の広報に活動紹介ができるよう働きかけてほしい。

(4)生涯スポーツ

・「いかわラン」のスポーツ協会などの協力を得た新たな試み、各種スポーツ大会での新たな工夫は評価できる。次につながる満足度調査は継続していただきたい。

□総合的にみて、今年度の具体的な事業・取り組みは多岐にわたるが、それぞれ重点・目標に向けて関連性、整合性があり、その効果も表れており高く評価できる。

□各項目の課題と今後の方向は、そのとらえ方や方向性はいずれも適切であり、来年度に向けて推進してほしい。

令和6年度外部評価委員 幡宮 明貞